

# リュウキュウアユ産卵地整地作業

## アユの赤ちゃん、元気に



リュウキュウアユの産卵場を整地する住用小児童ら「13日、  
奄美市住用町の役勝川（同小提供）」

### 住用小学校 リュウキュウアユ産卵場整地

奄美市住用町の住用小学校（久永浩幸校長、児童19人）は13日、同町の役勝川で、リュウキュウアユの産卵場を整地しました。10年以上続く保護活動の一環。同校児童と教職員のほか、保護者や住用中の生徒らも参加し、総勢40人で取り組みました。

リュウキュウアユは、天然で条例で希少種に指定されています。住用小の保護活動は2006年から継続。21年度野生生物減危惧ⅠA類に分類され、県は保護功労者表彰で文部科学大臣

賞を受けました。

13日は、リュウキュウアユを養殖する又野峰哲さんを講師に迎え、川底から大きな石を取り除き、小石を残して平らに整地。同小4年の松山結奈さんは「水が冷たかったけど、アユの赤ちゃんが元気に生まれるように心を込めて頑張った」と振り返りました。